

まほろば秦野通信

平成30年9月27日

タイトル	子供たち集まれ！ 地域ボランティアも募集 短大生が子供たちの居場所づくりをプロデュース
When (いつ)	10月13日(土曜日) 午前10時半～午後0時半
Where (どこで)	南公民館(今泉598) 和室
Who (だれが)	募集人数 高校生まで40人(申し込み制) ※保護者の参加可 (未就学児参加の場合は保護者同伴) 参加費 無料(大人300円 ※ボランティア等)
What (なにを)	市では、「上智大学短期大学部 学生団体上智Jr. ボランティア」と連携し、子供たちが楽しく遊んだり、勉強をしたりして過ごせる、自由な居場所づくりに取り組んでいます。 この事業は、公民館等の公共施設で、概ね毎月第2土曜日の昼間、子どもたちの年齢に比較的近い学生たちが中心となって、子供たちの輝ける将来を願い、心で寄り添いながら健やかな成長を見守る取り組みです。
How (どのように)	次回10月13日(土曜日)の開催にあたり、参加者等を上記のとおり募集しています。※地域のボランティアも募集中
Why (なぜ)	近年国内でも大きな問題とされている「子供の貧困問題」。国は平成27年の「日本の子供の貧困率」を約14%と公表しており、近頃では市民団体が主体もしくは官・民の協働により、いわゆる「子ども食堂」を含め、子供たちの居場所づくりに取り組む地域や自治体が増えています。 学生たちは、「自分たちと市民が協力し合って、未来を担うすべての子供たちを地域で見守り、育てていきたい」という思いで平成28年春にサークルを結成し、以後、地域ボランティアとともに、自主的な活動を継続してきました。 名称の「ベジタステーション」は、学生がスペイン語の「ベジタス」(=「元気な」)から願いを込め名付けた造語です。「子供たちが元気になれる場所」という概念で運営しています。取り組みのきっかけは「子供の貧困問題」が切り口でしたが、参加対象は「すべての子供」としています。
How much (予算)	市と大学との連携事業に位置付けていますが、市の財政支援はありません。
過去の実績	別紙のとおり
今後の取り組み	
問い合わせ	子育て支援課子育て政策担当 担当：杉山 電話0463(86)3460

まほろば秦野通信

別紙

過去の実績

●第1回目

月日 平成28年8月11日（木曜日・山の日）
※市の「山の日イベント」に位置付け、NPO法人ライフサポート
39丹沢との連携により開催。
場所 デイサービスコミュニティー万年青（曾屋 ※法人活動拠点）
参加者 5歳～小学生 7人
内容 野菜の収穫体験、昼食、遊び、学習

●第2目以降

<平成28年度> ※基本・第3土曜日
10月15日、11月19日、1月21日
<平成29年度> ※基本・第3土曜日
4月15日、5月20日★、6月10日、7月15日、10月21日、
11月18日、12月16日★、1月20日
<平成30年度> ※基本・第2土曜日
4月14日、5月12日、6月9日、7月14日、10月13日（予定）、
11月10日（予定）★、12月8日（予定）★、1月12日（予定）

場所 南公民館（★は本町公民館）
参加者 主に小学生 1回当たり平均約10人（本町公民館は約25人）
内容 遊び、学習（平成30年1月までは、昼食も提供）

今後の取り組み

今後も、上智大学短期大学部の学生と連携していきます。

貧困世帯や、保護者の就労等により、家に一人で過ごしていたり（孤食含む）、
様々な環境に置かれている中で心温かい「居場所」を求めている子供たち。市
としては民間団体が行う「子供の貧困対策」に繋がる事業については、できる
だけ支援していきたいと考えています。

いわゆる「子ども食堂」は、「貧困対策」のイメージが浸透しているため、あ
くまでも、すべての子供が参加できるオープンな「居場所」として事業展開し
ていきたいと考えています。

上智側としましては、「小学生が参加する事業」と思われがちであるため、学
習支援にも今後力を入れていき、中学生でも気軽に参加できるような事業にし
ていきたい考えがあるようです。